

「落花生」生育情報（第4報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

平成28年3月10日
千葉県農林水産部
生産振興課

1 平成27年産落花生の作柄

各調査ほ場の収穫調査の結果は、各品種とも、さや実数が少なく、乾燥さや実重、全粒重が小さくなっています。

この結果、各品種の作柄は「不良」となりました（次頁の調査結果を参照）。

これは、さやができ始める時期から、さやが大きくなる時期（結莢期^{けつきょう}～莢肥大期^{さやひだい}）に当たる7月下旬から8月上旬にかけて、降水量が極めて少ない干ばつ傾向であったことから、さや数が抑制されたことや、さやの中の落花生が大きくなる時期（子実肥大期^{ひだい}から登熟期^{とうじゅく}）に当たる8月中旬以降から、どん天に加え、気温が低くなったことで、登熟が抑制されたことが原因であると考えられます。

今年の栽培に向けて、優良種子を準備しよう！

今年の落花生栽培に向けて、種子に幼芽褐変*がないか、確認しましょう。

また、異型莢を除去して優良種子の確保に努めましょう。

昨年は8月上旬が干ばつ傾向であったため、「ナカテユタカ」を中心に、幼芽褐変の発生が見受けられ、今年の落花生栽培用の種子の発芽不良が懸念されます



健全粒



程度A
本葉が褐変



程度B
胚軸上部が褐変



程度C
本葉全部と胚軸
上部が褐変

落花生収穫時調査結果

品種名	年次	は種日	開花期	収穫日	さや実数 (個/株)	乾燥さ や実重 (g/m ²)	全粒重 (g/m ²)	上中実		むき実 歩合 (%)	上中実 百粒重 (g)	上中実 歩合 (%)	作柄
								粒数 (個/株)	粒重 (g/株)				
千葉半立	本年	5/26	7/9	10/3	44	231	158	37	27	64.7	71.4	84.3	不良
	平年	5/26	7/6	10/3	55	383	263	57	45	69.9	80.4	93.4	
	対比	0	3	0	81	60	60	65	59	—	89	—	
ナカテユタカ	本年	5/28	7/1	9/23	44	281	176	37	29	60.9	76.5	84.0	不良
	平年	5/29	7/5	9/23	60	472	341	70	66	70.5	89.5	95.2	
	対比	-1	-4	0	73	59	52	53	44	—	86	—	
おおまさり	本年	5/28	7/5	9/29	67	132	77	26	28	58.0	105.2	93.0	不良
	平年	5/29	7/6	9/30	84	210	143	43	51	63.4	116.6	96.7	
	対比	-1	-1	-1	79	63	54	61	55	—	90	—	

* 平年値は平成20～26年（過去7年間）から最高・最低の値を除いた5か年の平均

* 「おおまさり」の平年値は平成22年～26年（過去6年）の調査データの平均

* 対比は日数、又は平年比

* 「乾燥さや実重」及び「全粒重」は平年対比で90以上110未満を平年並み、110以上120未満をやや良、120以上を良、80以上90未満をやや不良、80未満を不良と判定し、作柄は「乾燥さや実重」及び「全粒重」を参考に判定した